

ごあいさつ

平成18年3月の市町村合併により「新ひだか町」が誕生してから早いもので10年以上の年月が経過しました。

この間、平成20年6月に策定した第1次総合計画のもと、地域の一体性や特色ある地域づくりなどを念頭に、時には厳しい選択などしながら、明るい未来を目指して各種施策に取り組んでまいりました。

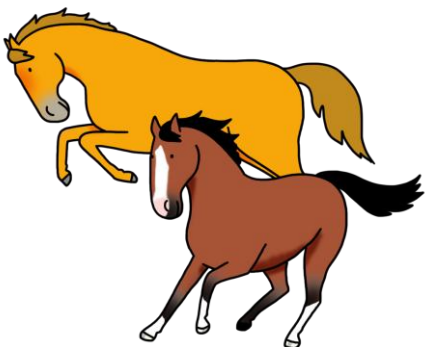


しかし、急激な人口減少の波は我々の予想を遥かに上回る勢いで襲いかかり、これに連動するかのようになり、少子高齢化や若者の町外流出なども進行することで、様々な分野で町に暗い影を落とそうとしています。

一方、時代の流れとともに住民ニーズは多種多様化し、行政に求められる役割も今まで以上に複雑化してくることが想定される中、町財政も人口減少等に対応した規模にしていかなければならない状況を考えますと、従来どおりの行政サービスを維持しながら、新たな行政課題等に対応していくことは極めて困難な時代を迎えています。

このような困難を乗り越え、この町を明るい未来へと導いていくためには、町民の皆さん、議会の皆さん、そして行政が目標や課題意識などを共有し、知恵と力を合わせていくことが重要なことであり、そのために必要な「まちづくりの道標」として、第2次総合計画を策定しました。

解決すべき課題は決して少なくはありませんが、次代を担う子ども達に胸を張って引き継いでいくことのできる「希望にあふれるまち」を一緒につくりましょう！



平成30年4月

新ひだか町長 酒井芳秀